

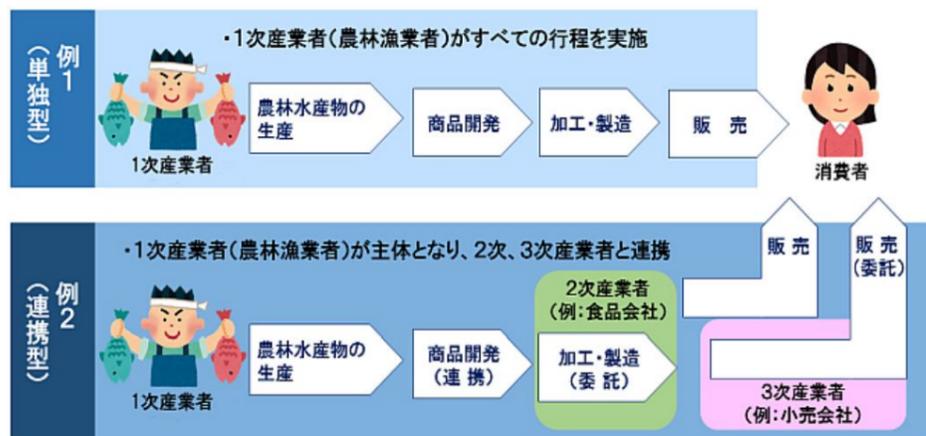
# 6次産業ひろめ隊

13班

## 背景

昨今の日本の農業は従事者の**高齢化**や**食料自給率の低下**など、様々な問題を抱えている。そんな中、**1・2・3次産業**を掛け合わせた**6次産業**が注目されている。私たちの班は6次産業が生み出す新たな産業の可能性に着目し、6次産業の特色と推進する策について考えていくことにした。

## 先行研究 6次産業形態の例



- ①一次産業者が生産から販売までを行う
- ②一次産業者が主体となり、二次、三次産業者と連携をとる(農商工連携)

## 調査・実験の方法

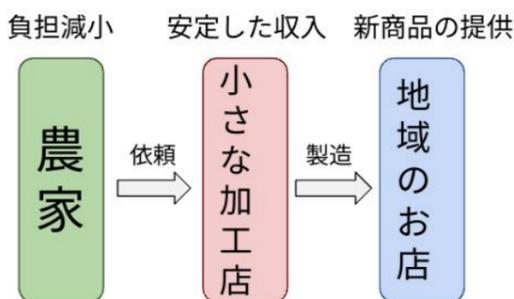
大学教授にインタビューを実施する。また施設の視察を行う。6次産業化を推進する形態を考案する。

## インタビューの結果

### ①システムの在り方

連携型が適している

1.2.3次産業者  
各々にメリット



## ②3J1D

ジャム,ジュース,ジェラート,ドレッシング  
・売り場はすでに飽和→魅力に欠ける

成功するためには

- ・商品としてのクオリティの高さ
- ・ブームにのる
- ・原料のブランドを利用
- ・視点を変えたユニークな発想

→他に無い「個性」「インパクト」が重要!



池田牧場：滋賀県



早和果樹園：和歌山県



⇒消費者に手に取ってもらう手段とは何か

- ・店での試食を勧める
- ・マルシェなどのイベントに出店
- ・売り場でもアピール
- ・商品を決めて目に付く場所に置く

るしオール(マルシェ)

べじらいす(農家レストラン)

## 調査の結果・結論

農業従事者が減少している中で、6次産業は地域との交流の活発化や所得の向上を図ることができるといえる。

6次産業を成功させるためには、他の商品にない個性やインパクトなどの差異が重要である。

しかし、より多くの消費者に手に取ってもらうには、商品の質の高さはもちろん、立地のよさや消費者のニーズに合わせた商品、売出し方が重要になってくるのではないだろうか。

## 参考文献

宮城県農政部.(令和3年5月)「宮城6次産業化推進プラン」(参照2022-5-15)

<https://www.pref.miyagi.jp/documents/6088/856585.pdf>

石巻市6次産業化・地産地消推進センター「6次産業化とは」(参照2022-5-15)

[http://www.iss-net.jp/6jika/sixth-industrialization\\_local-production-of-local-consumption.php](http://www.iss-net.jp/6jika/sixth-industrialization_local-production-of-local-consumption.php)